

7. Prediction of Transitions in the Climate System on Interannual Timescales (D. Hartmann)
8. Dynamics of Flow over Topography (P. Taylor)
9. Microwave Remote Sensing (A. Chedin)
10. Scientific Status Report on Weather Modification (B. Silverman)
11. Some Current Issues in Tropospheric Chemistry (J. Chang, R. Duce, and P. Hobbs)
12. High Latitude Tropospheric and Boundary Layer Processes (T. Parish and I. James)
13. Differences between the Arctic and the Antarctic Middle Atmospheres (K. Labitzke and M. Rycroft)
14. Global Weather Experiment (R. Daley)

() 内は主な convenor である.

論文発表の申込み期限は、1987年3月1日であるが、1986年10月発行予定の third circular に詳細が掲載される予定である。(日本学術会議地球物理学研究連絡委員会、山元龍三郎委員)

NEWS

台風の新し進路予報表示について

台風の進路予報をテレビや新聞が報道する時の表示方が、昭和61年6月から新しくなった。これは、今までの表示方法では、予報円を、暴風が吹く範囲を示すものと勘違いされる恐れがあるなどの指摘があったためである。

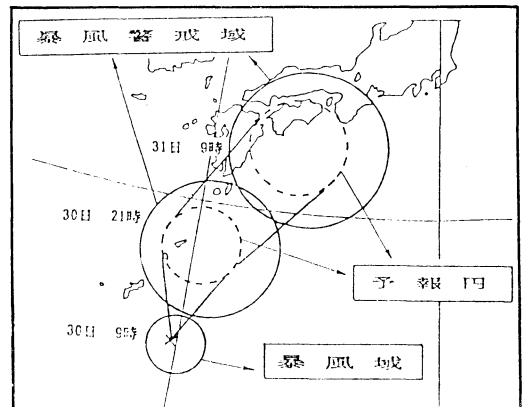
この新しい表示方法は、要約すると、今までの予報円の表示に、暴風域とこれから先の暴風警戒域の円を付け加えたものである。ただし、予報円の中心に印を付けると、この場所へ台風が必ずくるものと誤解される恐れがあるなどの理由で省略することになった。また、例外として台風の動きが遅い場合などは、12時間先の予報を省略することがあり、暴風域や暴風警戒域のない場合は、予報円のみ表示となる。

なお、気象庁では、この新しい表示方法の広報活動をする際には、暴風域の外側には必ず強風域があること、暴風域や暴風警戒域のない台風でも強風域を持っていること、および、常に新しい台風情報の入手、利用に努めて欲しいことなどを併せて PR をしている。

.....◇.....◇.....

【定義】

台風：北太平洋西部及び南シナ海の熱帯で発生する低気圧のうち、最大風速が風力8以上（平均風速が毎秒17.2メートル以上）にまで発達したものの。



予報円：予想時刻（12時間又は24時間先）に台風の中心が到達すると予想される範囲。

暴風域：平均風速でおおむね毎秒25メートル以上の暴風が吹いていると考えられる範囲。

暴風警戒域：予想時刻（12時間又は24時間先）に暴風域に入るおそれのある範囲。実際に暴風域に入るのは、この範囲の一部であるが、暴風警戒域に入った場合には、その後の台風情報や地元の気象台が発表する注意報や警報に注意することが必要である。

(気象庁 予報課)